農林水産分野のGX技術をめぐる状況

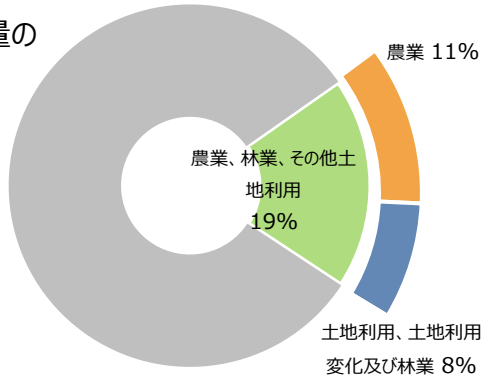
○ 農林業分野は世界の主要な温室効果ガス（GHG）の排出源であるが、国際的に十分な対策が講じられていない。
○ 他方、我が国は、これまで「みどりの食料システム戦略」、「農林水産省地球温暖化対策計画」等に基づき気候変動緩和策を推進。
○ また近年、気候変動緩和策に加え、気候変動適応、循環経済、生物多様性保全等を含めた取組への国際的な関心が高まっている。
○ これらの環境課題の解決に資するGX技術を有する我が国の農業・食品分野の民間企業・スタートアップ等は、海外展開に関心。
○ このため、**我が国が有する食料安全保障に資するGX技術の海外展開を後押しする施策**や、**活用可能な支援策**を取りまとめる。

①GX 投資の農林業・食品分野への呼び込み、気候変動ビジネスに取り組む我が国農林業・食品企業の市場拡大
②我が国GX技術を有効活用することで、世界と日本の食料安全保障の向上にも貢献
③我が国NDC＊達成への貢献

＊NDC:国連に提出する国別削減目標

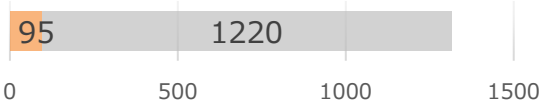
国際的に農業分野が抱える課題

農林業分野は世界のGHG排出量の
19% を占める主要な排出源



（出典：UNEP (2025)）

他方で、気候変動資金のうち、
農業分野に向けられるのは
7.2% に留まり、
官民資金の呼び込みが必要



（出典：Climate Policy Initiative (2025)）【単位：10億ドル】

✓ 非エネルギー分野（特に農業・畜産分野）において、GHG排出削減対策は**十分に講じられていない。**
（参考：IPCC(2022)）

我が国の強み

■ **我が国の農林水産分野における気候変動対策の推進**
- ✓ **「みどりの食料システム戦略」**の策定(R3)
- ✓ **日ASEANみどり協力プラン**による技術普及(R5～)
- ✓ **食料・農業・農村基本法改正**において「環境と調和のとれた食料システムの確立」を新たに基本理念に位置付け(R6)
- ✓ **政府改正温対法**にてJCMを法制化し農林水産大臣も主務大臣に位置付け(R6)
- ✓ **農林水産省地球温暖化対策計画**の改定(R7)

■ **産業界のGX技術の海外展開への関心の高まり**
- ✓ 民間企業（農機メーカー・食品メーカー・スタートアップ等）が技術の海外展開やJCM活用に関心

■ **農林水産分野GX技術海外展開パッケージ(通称:MIDORI∞INFINITY)**
- ✓ 我が国が有するGHG排出削減技術を、関係府省・機関の促進施策とともに「農林水産分野GHG排出削減技術海外展開パッケージ」として取りまとめ、令和7年5月に公表
- ✓ 令和8年9月の改訂では、対象技術を脱炭素技術だけでなく、**気候変動適応、循環経済、生物多様性の保全等も含めたGX技術**に拡大し、名称を**「農林水産分野GX技術海外展開パッケージ」**に変更。戦略的な海外展開に資する、主なGHG排出削減技術及び国別**削減ポテンシャルの分析**も盛り込む。